

**第13回全国システム実務者研修会
活動報告 質疑応答**

	質問	回答
1	多くのデータ種を用意していただいておりますが、今後どんなデータ種を増やしていく計画なのか、構想レベルでもいいので、教えていただきたいです。	流通BMSのメッセージを参考に菓子業界（卸、メーカー）の業務効率化や課題対策に効果的なデータ種、フォーマットを検討致します。直近では、物流に関係するデータ種（入庫予定、出荷報告、事前出荷案内）の見直しを含めた検討を予定しています。
2	V1からV2へ切り替えるには、どうすれば宜しいでしょうか？	ホームページのV2フォーマットでデータの作りこみや受信ができるよう自社システムの準備をお願いします。導入支援サービスを提供していますので、V1とV2のコンバート検証をお願いします。相対企業と調整したうえでのテストをお願いします。データ種毎にV1利用、V2利用を選択できますので、段階的に一部データ種からV2へ切り替えることも可能です。準備が出来ましたら、接続申込書を記入のうえ、富士通Japanまでメールで送付ください。
3	アンケートを実施し、定期的な機能開発をされているとのことですが、請求・支払データのPDF帳票ダウンロード機能以外に検討されている 事項はありますか？	PDF帳票として、請求書・支払書の次に販促金支払書・販促金請求書への拡大を検討する予定です。また、各データ種をCSVデータとして提供するためのダウンロード機能を検討する予定です。
4	7. 加入企業数とV2利用者数、データ量の推移 販売報告データが年々増加しておりますが、何故でしょうか？ （卸・メーカーにとってどのようなメリットがあるのでしょうか。）	販売報告データは卸様の小売様への出荷情報となります。メーカー様側では販売分析だけでなく、社内外システムのDX推進の一環として活用して頂いていると思います。 事例としては以下があげられます。 ・小売様実績から販促金対象売上の確認を、販促精算へ活用する ・重点商品の納品状況確認に活用する ・データとして提供してもらうことで商品別、単価別など様々な観点でデータを編集し、分析に活用する
5	また販売報告データはV1・V2どちらでも利用可能ですが、V1とV2の比率はどのようになっているのでしょうか。	研修会資料「e-お菓子ねっと活動報告」のP26に導入社数、P27に件数におけるV1とV2の比率を記載しておりますので、ご確認ください。
6	弊社はメーカーの立場です。何とか納品伝票のペーパーレス化が出来ないものかと思っておりましたが、現在開発中の請求・支払データのPDF帳票作成サービスが利用できるようになれば、菓子統一伝票等の専用伝票を一切使用しなくなる事が可能になるのでしょうか。	現在開発検討中の請求・支払データPDF帳票作成サービスについては、加入企業様へサービス向上で取り組んでいる案件となります。伝票レスを実現するためには、現行の運用やe-お菓子ねっとにおける「出荷案内データ」「入庫予定データ」「受領データ」のシステム観点での見直し及び運用の検討が必要となります。菓子統一伝票の専用伝票を使用しなくなるかどうかは、メーカー・卸で相対でのご確認をお願いします。
7	入庫予定データ、受領データの実務に即したレベルでの活用事例はありますか。ない場合提供いただくことは可能でしょうか。また、受領データなどの利用が進んでいない要因はなんなのでしょうか。	申し訳ございません、活用事例はございません。 請求の対象となる情報がメーカー様が受信する受領データではなく、実際の商品出荷情報（入庫予定データ、出荷報告データ）であるメーカー様が多くいらっしゃるのが現状だと思います。 P13に記載しています業務プロセスの整備を現状に見合った形で行い、受領データをはじめとしたデータ種拡大に取り組んでいきます。入庫予定データ、出荷報告データをメーカー様より頂くことで卸様側で入庫検品作業の効率(伝票レス、一覧表)が図れますので、入庫予定データ、出荷報告データの活用もぜひご検討ください。
8	国の物流政策によって、今使用している入庫予定データの項目が増える可能性はありますか。現状、メーカーではセット出来ないよう内容・項目などを求められる場合は難しいかもしないのですが、そのあたりは各協議会の課題になっているのでしょうか。	国の物流政策や現在の物流問題を捉え、今後検討する予定です。その中で、今後の展開次第では、項目追加等の可能性はあると思います。その場合は空き領域の問題もあり、V2のみの対応となる可能性があります。また、セットできない内容や項目があることは存じ上げており、課題となっております。全ての項目をセットしなくても必要最小限の項目のみで対応することで各社の問題解決に繋がるパターンも検討したいと思っております。